

消滅危機言語の相互理解性と世代間継承度の測定

著者	山田 真寛
URL	http://doi.org/10.15084/00003362



他の琉球諸語とお互に通じない。
流暢な母語話者は60~70歳以上の高齢者。

どうやって調べたの？50歳以下の方は、
流暢な母語話者じゃなかったら何なの？



今の若い人なんかよ、
ほーげん じえん じえん わからんはずよ。

本当？「若い人」って何歳くらい？



ほーげんとか使えんし。

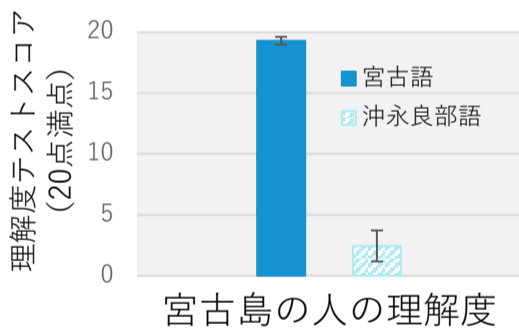
聞いて理解することはできるんじゃない？



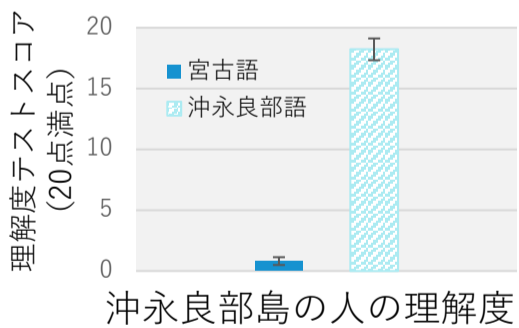
言語の理解度を客観的に測定する理解度テストをつくり、実験して調べました。

宮古語池間方言と沖永良部語上平川方言は
どっちも琉球語だけどお互に通じない。

沖永良部島の40代までの人たちは
地域言語を聞いて理解できる。

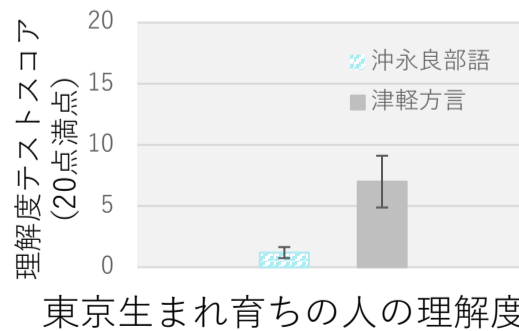


実験参加者：10名
平均69.67歳 (SD=4.36)
スコア平均
宮古語：19.30 (SD=0.63)
沖永良部語：2.45 (SD=2.54)

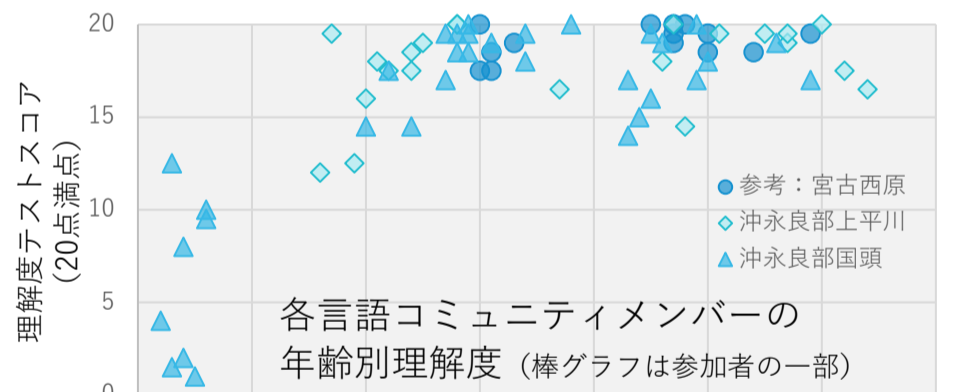


実験参加者：11名
平均73.09歳 (SD=8.10)
スコア平均
宮古語：0.8230 (SD=0.64)
沖永良部語：18.23 (SD=1.79)

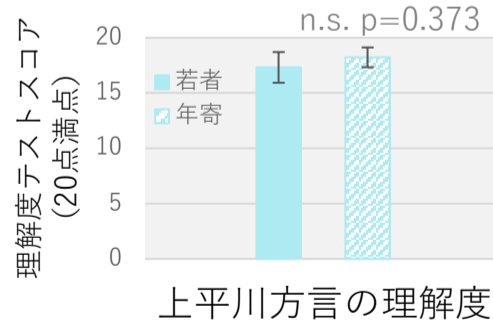
参考：標準語話者の沖永良部語と津軽方言の理解度



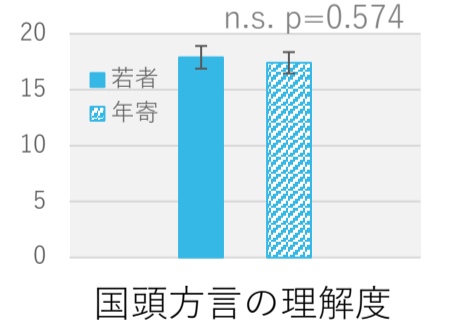
実験参加者：82名
本人、両親ともに
首都圏生まれ育ちの大学生
スコア平均
沖永良部語：1.20 (SD=0.90)
津軽方言：7.00 (SD=4.23)



各言語コミュニティメンバーの
年齢別理解度 (棒グラフは参加者の一部)



上平川方言の理解度
若者：11名 (36~48歳)
平均42.18歳, SD=4.05
スコア平均17.32 (SD=2.78)
年寄：11名 (57~84歳)
平均73.09歳, SD=8.10
スコア平均18.23 (SD=1.79)



国頭方言の理解度
若者：10名 (40~49歳)
平均46.30歳, SD=3.20
スコア平均17.90 (SD=1.90)
年寄：11名 (63~79歳)
平均68.09歳, SD=5.28
スコア平均17.40 (SD=0.95)

「流暢な母語話者」のずっと下まで、受動的言語能力を持つ「潜在話者」がいます。



「親の世代」にあたる彼らの地域言語（再）習得が、消滅危機言語の復興の鍵！

